

「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2022」受賞

～企業部門 従業員規模別 1,000名以上の部にて第3位～

ファイザー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:原田明久)は、Forbes JAPAN が主催する「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2022」の企業部門 従業員規模別 1,000名以上の部において、第3位を受賞しましたことをお知らせいたします。

当社は、「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021」に初めて応募し、第10位入賞を果たしました。同2022において第3位の受賞は、柔軟な働き方の実践と、「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DEI)」の全社推進が評価された結果となりました。

■「Forbes JAPAN WOMEN AWARD」とは

人数比率や、育休比率・福利厚生などの「働きやすさ」を基準にした選出ではなく、女性リーダー、プロフェッショナルを続々と輩出している企業と、自ら道を切り拓き自分らしく働く女性個人を讃える日本最大規模のアワードです。

2016年に発足し、Forbes JAPAN のグローバルな視点に加え、国内企業の人事担当者やダイバーシティ&インクルージョン推進担当役員および企業で働く女性と従業員等に調査を実施し、その結果と評議員審査を経て、受賞企業・受賞者を決定しています。

2022年度は、企業のジェンダー平等への取り組み、女性へのエンパワーメント、男性の意識と理解等について調査が実施され、社内の女性活躍推進のために大きなアクションを起こした人物やチーム、女性登用を進めることで生産性や成長を加速させた事例に着目されました。



Forbes
WOMEN
AWARD

supported by LIB

※「Forbes JAPAN WOMEN AWARD」の特設サイトは[こちら](#)>>>

■ファイザー株式会社の「女性活躍推進」のための取り組み

当社における女性活躍推進への取り組みは、2009年に立ち上げた Japan Women's Council (JWC) に遡ります。JWC は、グローバルの取り組みの一環として、女性活躍推進のための施策を企画・実行する組織です。同時に、施策の対象となる若手女性社員によるネットワーキンググループ (JWCRG: Japan Women's Colleague Resource Group) が創られ、2年ごとに約30名の全社から選ばれたメンバーが、イベントや研修を通じて部門を越えた繋がりを構築し、かつての JWCRG メンバーが、課長、部長、役員に昇進しているケースも多々あります。現在は、Japan Pfizer Women's Resource Group (JPWR) に名称を変え、引き続き全社で女性活躍推進のための様々な施策を企画・実行しています。

■ファイザーの「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン」

ファイザーは性別・年齢・キャリア・ワークスタイルに関する価値観や志向、ライフスタイルなどの「違い」を認め、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる職場を創るとともに、やりがいを持ち、効率的に働くことで、個人と組織の双方が成長することを目指しています。

そのためダイバーシティ&インクルージョンに公平性(エクイティ)を加えた「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DEI)」が非常に重要であると考えています。

実現に向けてさまざまなサポート制度を設けており、多様なキャリアへの支援、柔軟な勤務形態・ワークライフマネジメントに関する制度のほか、有志社員による啓発プロジェクトなどを通じて、DEIの推進を後押ししています。

ファイザーは今後も、様々な施策を通じて DEI のさらなる推進に取り組んでまいります。

※ファイザーの DEI への取り組みに関する詳細は[こちら](#)>>>